

# 北見工業大学複合型豪雨災害研究ユニット

## 報 告 会

豪雨災害増加への対応策立案に向けた取り組み  
地域社会の安全安心のために



平成 28 年 8 月に北海道を襲った台風による被害の原因究明及び対応に対して、本研究ユニットでは農業を基盤とする地域特性及び寒冷地域を対象に広域分散型の都市形態を考慮しつつ、これまで十分に解明されてこなかった河川工学・橋梁工学・地盤工学の境界領域が関与する橋梁被害、堤防被害、農地被害に焦点を当て、それぞれの研究分野から融合的に現象解明及び対策手法の立案を行います。



**日時** 平成 30 年 4 月 5 日(木)  
15:00~17:30

**会場** 北見工業大学 3 号館  
多目的講義室

**内容** 研究ユニットの研究内容発表と話題提供  
15:05-15:25 河川系 (橋台背面の浸食の実験)  
15:25-15:45 地盤系 (橋台背面盛土の侵食対策に関する模型実験)  
15:45-16:05 地盤系 (ジオセルおよび排水パイプを併用した斜面安定工)  
16:05-16:25 地盤系 (積雪寒冷地における試験補強土壁の動態観測)  
16:40-17:00 構造系 (洗掘を受ける橋台の非線形構造解析)  
17:00-17:20 北見河川事務所 (最近の治水対策の傾向)



### 問い合わせ先

北見工業大学 研究協力課

TEL 0157-26-9152 / FAX 0157-26-9155

E-mail kenkyu03@desk.kitami-it.ac.jp

主催 北見工業大学複合型豪雨災害研究ユニット